

■紀要 創刊号 (2007 年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	中山浩彦	比企における弥生～古墳時代前期の集落の立地について	pp.1-10	○
02	若松良一	「古墳壁画の狩猟図について」	pp.11-20	○
03	昼間孝次	「吉見百穴をめぐる人々 特別展『吉見の百穴と東日本の横穴墓』によせて」	pp.21-30	○
04	井上尚明	「さきたまの津を探る」	pp.31-42	○
05	浅野春樹	「『寄り合い』の開催について」	pp.43-54	○
06	君島勝秀	「企画展『武蔵武士と寺院』記念講演会・シンポジウムのアンケート結果について」	pp.55-58	○
07	宮 昌之	「埼玉の大型古墳一覧 (1)」	pp.59-64	○
08	梅沢太久夫	「松山城主上田氏の系譜と比企郡進出について」	pp.72-65	○

■紀要 第 2 号 (2008 年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「中耕・広面遺跡墳墓群と供献土器 (1)」	pp.1-16	○
02	杉崎茂樹	「稻荷山古墳出土土器の器種構成と出土位置に関連して」	pp.17-32	○
03	梅沢太久夫	「歴史的環境保全調査から 28 年—比企城館跡群の国指定史跡化へのあゆみ—」	pp.33-36	○
04	赤熊浩一	「古墳時代の動物遺存体と交易」	pp.37-43	○
05	山川守男	「埼玉古墳群と馬」	pp.44-47	○
06	新屋雅明	「縄文時代の動物を考古学する」	pp.48-51	○
07	若松良一	「古墳壁画に描かれた他界」	pp.52-61	○
08	西本豊弘	「原始・古代の豚と猪」	pp.62-67	
09	宮代英一	「古墳時代の馬具と馬」	pp.68-78	○
10	井上尚明	「史跡整備研修会の開催について」	pp.79-84	○
11	井上尚明	「中国トルファン地区博物館における展示協力について—自治体国際協力専門家派遣事業に参加して—」	pp.85-96	○
12	若松良一	「中世名族の末流 忍藩土畠山氏研究 (一) —新発見の畠山系図とその検討—」	pp.130-97	○

■紀要 第3号 (2009年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	西口正純	「埼玉古墳群周辺の範囲確認調査」	pp.1-6	○
02	井上尚明	「二子山古墳の内堀護岸整備について」	pp.7-14	○
03	村田章人 杉崎茂樹	「テーマ展『考古学が解く食と技』、『考古学で学ぶ動物とのかかわり』を振り返って—企画展示室の改修とこれまで2回実施したテーマ展示の概要について—」	pp.15-42	○
04	市川 修	「熊谷市西城切通遺跡の土器と土偶—前原儀久氏採集資料—」	pp.43-56	○
05	石坂俊郎	「中耕・広面遺跡墳墓群と供献土器 (2)」	pp.57-72	○
06	君島勝秀	「後北条氏の城とは何か—企画展及び関連普及事業の取り組みから—」	pp.73-80	○
07	若松良一	「中世名族の末流 忍藩土畠山氏研究 (二) —松平下総守家臣としての勤書とその検討—」	pp.100-81	○

■紀要 第4号 (2010年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	中村倉司	「埼玉丸墓山古墳と大里甲山古墳—武蔵国造家内紛と大型円墳—」	pp.1-17	○
02	堀内紀明	「コラム さきたま思い出写真館①」	p.18	○
03	利根川章彦	「サキタマ王権論へのプレリュード—埼玉稻荷山古墳と高崎市八幡観音塚古墳の関係性をめぐって—」	pp.19-31	○
04	堀内紀明	「コラム さきたま思い出写真館②」	p.32	○
05	西口正純 佐藤康二	「埼玉古墳群周辺の範囲確認調査」	pp.33-40	○
06	佐藤源之 渡邊学 井上尚明	「奥の山古墳の地中レーダー探査実験について」	pp.41-49	○
07	堀内紀明	「コラム さきたま思い出写真館③」	p.50	○
08	井上尚明	「史跡整備と考古学 I —埼玉古墳群の整備が目指すもの—」	pp.51-60	○
09	栗島義明	「財貨としての『儀礼的交換用石斧』—ニューギニア島ダニ族の Je Stones について—」	pp.61-84	○
10	加藤光男	「出土板碑からみた製作工程の復元」	pp.85-98	○
11	栗岡真理子	「埼玉県内における宝篋印塔・五輪塔の特徴と分布域」	pp.99-110	○
12	若松良一	「平成二十一年度企画展『秩父平氏 畠山重忠とその時代』の試みについて」	pp.126-111	○

■紀要 第5号 (2011年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	鈴木敏昭	『土器にみる縄文人の思考』を考える	pp.1-25	○
02	中村倉司	「コラム1 「さきたま」の地名由来」	p.26	○
03	中村倉司	「縄文時代の屋内調理と貯蔵穴—埋甕炉そして埋甕とCピットの用途—」	pp.27-56	○
04	城倉正祥	「埼玉古墳群の埴輪編年」	pp.57-91	○
05	中村倉司	「コラム2 埼玉古墳群の墓主」	p.92	○
06	栗島義明	「緑泥片岩を用いた横穴式石室の構築—緑泥片岩の来歴と石室構築技術について—」	pp.93-114	○
07	佐藤康二	「平成21年度 埼玉古墳群周辺の確認調査報告」	pp.115-122	○
08	佐藤源之 横田裕也 西口正純 末木啓介	「鉄砲山古墳の地中レーダ探査実験について」	pp.123-130	○
09	野中仁 田中英二	「国宝金錯銘鉄剣の貸出と最新分析」	pp.131-138	○
10	井上尚明	「史跡整備と考古学II」	pp.139-148	○
11	中村倉司	「コラム3 埼玉古墳群を支える地域」	pp.149-150	○
12	加藤光男	「板碑造立過程の検証」	pp.151-162	○

■紀要 第6号 (2012年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	栗島義明	「緑泥片岩製石棒に見る需給システム—縄文時代後晩期の石棒製品の生産と広域流通—」	pp.1-24	○
02	近江 哲	「縄文時代前期の搬入土器—埼玉県内における北白川下層式—」	pp.25-44	○
03	利根川章彦	『埼玉の古墳出現』断章	pp.45-52	○
04	関 義則	「埼玉古墳群の構成原理」	pp.53-94	○
05	中村倉司	「装飾馬具は下賜品か—『威信財説』への疑義—」	pp.95-120	○
06	佐藤康二	「平成22年度 埼玉古墳群周辺確認調査の報告—埼玉8・9・10号墳の確認調査—」	pp.121-132	○
07	西口正純	「さきたま講座のアンケート分析」	pp.133-138	○
08	関 義則	「《追悼》さきたま風土記の丘整備事業と柳田敏司氏」	pp.139-142	○

■紀要 第7号 (2013年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	岩田明広	「妻沼低地・荒川低地の水稲農耕と生活環境思考の変遷」	pp.1-36	○
02	関 義則	「埼玉古墳群の構造変遷」	pp.37-64	○
03	君島勝秀	「赤城遺跡出土中空みみずく土偶の修復」	pp.65-74	○
04	佐藤康二	「平成 23 年度 埼玉古墳群周辺確認調査の報告—若王子古墳の確認調査 (1) —」	pp.75-84	○

■紀要 第8号 (2014年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	岩田明広	「平成 24 年度 埼玉古墳群周辺確認調査の報告—若王子古墳の確認調査 (2) —」	pp.1-18	○
02	堀口智彦	「平成 25 年度 埼玉古墳群範囲確認調査の報告」	pp.19-34	○
03	佐藤康二	「二子山古墳の再整備について」	pp.35-48	○
04	杉崎茂樹	「坂戸市終塚とその土橋をめぐる」	pp.49-56	○
05	水口由紀子	「いわゆる『踊る埴輪』の戦前の絵葉書から」	pp.57-64	○
06	西田真吾 小峰俊章	「出土遺物を利用した出張授業の実践」	pp.65-72	○
07	向井隆盛	「博物館における文化体験学習の性格—さきたま古代体験の実践を手掛かりにして—」	pp.73-76	○

■紀要 第9号 (2016年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	倉澤麻由子	「旧長瀬総合博物館からの寄贈資料—富山県氷見市朝日貝塚の骨角器—」	pp.1-10	○
02	水口由紀子	「〈資料紹介〉 根岸武香と利仁神社経塚」	pp.11-22	○
03	向井隆盛	「小学校社会科第 6 学年の学習におけるさきたま史跡の博物館の役割」	pp.23-34	○
04	井上尚明	「埼玉古墳群をめぐる研究者たち」	pp.35-38	○

■紀要 第10号 (2017年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台—赤砂・小砂利の『祭壇状遺構』—	pp.1-12	○
02	中井 歩	「前組羽根倉遺跡出土珠文鏡について」	pp.13-20	○
03	関 義則	「埼玉古墳群の成立」	pp.21-42	○
04	山田琴子 瀧瀬芳之 荒木臣紀 宮田将寛	「将軍山古墳の新発見資料について」	pp.43-66	○
05	高久健二 佐藤康二	「伝・将軍山古墳出土の朝鮮三国時代加耶系陶質土器について— 明治大学博物館所蔵資料の紹介—」	pp.67-78	○
06	末木啓介	「カマドの支脚利用にみられる集落内のグループ—古墳時代後 期の埼玉県内の遺跡を中心に—」	pp.79-110	○
07	鈴木秀雄	「《事業報告》企画展「埼玉の古墳 1—比企・入間—」の開催に ついて」	pp.111-114	○
08	向井隆盛	「中学校社会科歴史的分野の学習におけるさきたま史跡の博物 館の役割」	pp.115-120	○
09	石田智美 頓所詩織	「博物館における学芸員育成の実践—博物館実習と子供講座か らの考察—」	pp.121-126	○
10	浅野晴樹	「武士の本拠の成立について—考古学的資料をとおして—」	pp.127-142	○
11	水口由紀子	「平沢寺跡出土経筒の銘文について」	pp.143-154	○

■紀要 第11号 (2018年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台(2) —ムラの中の祭壇付住居—」	pp.1-14	○
02	利根川章彦	「前方後方墳墓・方形墓群の構成に関する一様相—本庄市域周辺の場合—」	pp.15-30	○
03	中井 歩	「古墳時代前期における小型鏡の系譜と変遷—重圈文鏡・珠文鏡を対象として—」	pp.31-50	○
04	山田琴子 肥沼隆弘	「小鹿野町小鹿野小学校出土の鉄銚について」	pp.51-60	○
05	関 義則	「旧岡部町四十塚古墳出土の鈴杏葉」	pp61-74	○
06	野中 仁	「旧長瀬総合博物館所蔵金属製遺物目録」	pp75-88	○
07	水口由紀子	「旧長瀬総合博物館から寄贈された和同開珎について」	89-98	○
08	西口正純	「埼玉古墳群の保存と整備」	pp99-102	○
09	中山浩彦	「《事業報告》平成29年度企画展「埼玉の古墳2—秩父・児玉・大里—」の開催について」	pp103-108	○
10	野中 仁	「さきたま史跡の博物館特別収蔵庫の資料保存環境について」	pp109-114	○
11	佐々島忠重 向井隆盛	「博学連携資料「さきたまのネタ」の作成と活用・実践事例」	pp115-142	○
12	渡邊智大	「体験工房「まが玉づくり」事業におけるワークシートの開発」	pp143-150	○
13	加藤光男	「『新編武蔵風土記稿』に記載される戦国時代の地侍たちとその子孫の動向」	pp151-166	○

■紀要 第12号 (2019年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台(3) — 「貯蔵穴」の諸相—」	pp.1-24	○
02	中井 歩	「《速報》二子山古墳墳丘造出しの調査について—平成29年度発掘調査成果を中心として—」	pp.25-42	○
03	青笹基史	「秩父郡小鹿野町下塚居古墳副葬矢鏃の検討」	pp.43-62	○
04	齋藤 努 中井 歩	「埼玉県内出土銅鏡の鉛同位体比分析について」	pp.63-78	○
05	野中 仁 鈴木秀雄 宮原正樹	「長瀬総合博物館旧蔵具指定文化財「古瓦」目録」	pp.79-94	○
06	中山浩彦	「《事業報告》企画展「埼玉の古墳3—北足立・北埼玉・南埼玉・北葛飾—」の開催について」	pp.95-100	○
07	大谷直紀	「さきたまの博学連携」	pp101-108	○
08	金田彩香	「博物館における特色を活かした事業—埼玉古墳群での来館者向け事業を中心に—」	pp.109-114	○
09	加藤光男	「『新編武蔵風土記稿』に記載される戦国時代の地侍たちとその子孫の動向2」	pp.115-130	○
10	諸岡 勝	「比企郡川島町の『古式板碑』」	pp.152-131	○

■紀要 第13号 (2020年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	村田章人	「記念物100年と先史考古学 — 史跡保存と1910年代の考古学—」	pp.1-14	○
02	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台(4) — 赤砂・小砂利の「祭壇状遺構」再論—」	pp.14-38	○
03	ナワビ矢麻	「《速報》平成30年度奥の山古墳発掘調査成果報告 — 外堀南西隅角部の発掘調査について—」	pp.39-56	○
04	ナワビ矢麻	「UAVを用いた埼玉古墳群の測量について — 古墳群の記録の手法として—」	pp.57-66	○
05	青笹基史	「伝栃木県出土騎馬人物埴輪片の検討 — 実測・写真・SfM/MVSを用いた三次元計測による資料化—」	pp.67-76	○
06	青笹基史	「秩父郡小鹿野町下塚居古墳遺構の検討」	pp.77-95	○
07	野中 仁 山田琴子	「旧長瀬総合博物館所蔵玉類目録」	pp.96-108	○
08	栗岡真理子	「埼玉古墳群史跡指定80周年・稲荷山古墳50周年・鉄剣銘文発見40周年紀年講演会「さきたま あれから これから」白石太郎氏(国立歴史民俗博物館名誉教授)講演「埼玉古墳群とヤマト王権—稲荷山古墳鉄剣銘文が語るもの」記録」	pp.109-131	○
09	森 淳史	「博物館の体験活動」	pp.132-148	○
10	川又奈津紀	「事業報告 さきたま史跡の博物館における史跡探訪」	pp.149-154	○

■紀要 第14号 (2021年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	石坂俊郎	「屋内祭祀の舞台(5) — 土器の群像—」	pp.1-14	○
02	山田琴子	「小針型坏と埼玉古墳群」	pp.15-26	○
03	加藤光男	「菅谷館・菅谷城理解のために— 文献史学の視点からの再検討—」	pp.27-42	○
04	青笹基史	「秩父郡小鹿野町下塚居古墳副葬玉の検討」	pp.43-56	○
05	栗岡真理子	「埼玉古墳群内に所在する石塔群」	pp.57-68	○
06	ナワビ矢麻	「館蔵考古資料3次元モデルの作成と公開について」	pp.69-86	○
07	野中 仁・ 別所鮎実	「旧長瀬総合博物館所蔵資料目録— 縄文土器・土製品—」	pp.87-108	○
08	田邊えり	「埼玉古墳群におけるサインの整備の歴史と課題」	pp.109-120	○
09	村田章人	「令和元年度さきたま講座「博物館で楽しむための縄文土器入門」の実施報告」	pp.121-130	○
10	岩田明広	「戦国の忍びを追う— 葛西城乗取と羽生城忍び合戦」	pp.131-190	○

■紀要 第15号 (2022年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	田邊えり	「縄文時代晩期前葉における姥山式土器の影響を受けた大宮台地出土土器群の考察」	pp.1-8	○
02	別所鮎実	「旧長瀬総合博物館所蔵資料における柴田常恵コレクションの検討」	pp.9-28	○
03	西口正純・野中 仁	「旧長瀬総合博物館所蔵資料目録―弥生土器・土師器・須恵器―」	pp.29-44	○
04	山田琴子	「企画展「運ぶ―埼玉古墳群とモノの動き―」の開催について」	pp.45-50	○
05	小林弘一・篠崎彩乃	「博物館資料の活用に基づく学校連携プログラム」	pp.51-58	○
06	中村陽平	「《調査彙報》正法寺所蔵水野忠貞奉納明版大蔵経について」	pp.59-64	○
07	岩田明広	「戦国の忍器を追う」	pp.65-126	○

■紀要 第16号 (2023年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	吉田修太郎	《研究ノート》稲荷山鉄剣の銘文に関する一考察―乎獲居臣をめぐる諸問題を中心に―	P1-30	○
02	宮原正樹	《資料紹介》埼玉県指定有形文化財「古瓦」武蔵国分寺関係資料について	P31-44	○
03	青笹基史	《資料紹介》秩父郡小鹿野町下塚居古墳副葬刀子の検討	P45-60	○
04	史跡整備担当	《速報》令和3年度愛宕山古墳発掘調査成果報告	P61-84	○
05	杉山高志	《事業報告》令和3年度公式Twitterアカウント運用結果レポート	P85-92	○
06	情報発信検討会	《事業報告》「鉄剣月間」関連企画の実施について	P93-100	○
07	西口正純	《事業報告》令和4年度企画展「家形埴輪」の開催について	P101-104	○
08	中島萌	《事業報告》令和4年度夏休み親子体験教室「金継ぎにチャレンジ」について	P105-112	○
09	岩田明広	《論文》続・戦国の忍びを追う―忍び戦術に用いた技(忍術)の実像―	P113(48)-160(1)	○

■紀要 第17号 (2024年発行)

	著者	題	ページ	PDF
01	吉田修太郎	《研究ノート》稲荷山鉄剣における辛亥年について	P1-18	○
02	堀口智彦	《研究ノート》菅谷館跡絵図の再検討 堀口智彦	P19-30	○
03	中井歩	《事業報告》令和5年度企画展「二子山古墳と祈りの器」の開催について	P31-40	○
04	吉田修太郎	《事業報告》学芸員の仕事にチャレンジ! ①「古墳を歩いて大きさを測ってみよう」について	P41-54	○
05	史跡整備担当	《講演録》令和4年度シンポジウム「特別史跡埼玉古墳群のこれから」	P56-92	○
06	岩田明広	《論文》続々・戦国の忍びを追うー忍び戦術の具体像と補遺ー	P80(14)- P93(1)	○